

祝 平成21年 伊方町成人式



生涯学習だより

ふれあい

いかいた

毎月第2日曜日は「家庭の日」です。

2月のテーマ“明るい郷土をつくろう”

(実践方法)

- 郷土の史跡探訪、文化財めぐりなどを行って、家や郷土の歴史や文化について話し合おう。
- 郷土芸能や文化の伝承活動に参加しよう。

平成21年
2月1日発行

No.46

2月号

大人になつたことを自覚し、
自ら生き抜こうとする新成人
者をお祝い励まそうと1月3
日(土)「平成21年伊方町成人
式」が伊方町生涯学習センター
で開催されました。

今年の新成人該当者は、昭和
63年4月2日から平成元年4
月1日までに生まれた129
名で、その内男性59名、女性43
名、計102名が出席され、
大人への新たな門出を祝いました。

式典では、山下町長から「心
るさと」「伊方町」に誇りと愛
着をもつていただき、若さあ
ふれる行動力で、これからの方
の自覚をもち、積極的に
参加していただきたい。未
来を担う皆さんには、これまで
自分を成長させていただき、
お世話になった全ての方への
「感謝」の気持ちを忘れずに、
自らの目標に向かって邁進し、
常に初心に返り、研鑽に励
まれますことを切に期待して



おります。」と励ましの言葉が
ありました。
その後、新成人者ひとり一
人が自己紹介と抱負を発表し
て決意を新たにしていました。
続いて山下町長から記念品
が新成人を代表して井上翔太
さん(塩成)に贈呈されました。
中村町議会議長をはじめ来
賓の方々からもお祝いの言葉
をいただき、新成人者は神妙
な表情で聞き入っていました。
又、新成人者を代表して和
唐純平さん(湊浦)がお礼の言
葉を、大岩楓さん(三崎)が20
歳の抱負を発表されました。

式典終了後には、記念写真
の撮影、さらに茶話会が開催
され、同級生との久しぶりの
再会に会話を弾み、晴れやか
な記念すべき成人式のひとと
きを過ごしていました。

～102名が出席して新たな門出を～



総合成績表

部	順位	チーム名	記録
(町内一般)			
1部	優勝	消防署第一分署	50分50秒
	準優勝	ファミリーF	53分33秒
	3位	塩成金太郎	53分48秒
(地域体協・クラブ)			
2部	優勝	伊方体協A	47分40秒
	準優勝	伊方サービス	50分39秒
	3位	伊方体協B	55分13秒
(中学校男子)			
3部	優勝	デコボコ(瀬戸中)	49分28秒
	準優勝	瀬戸中バレーA	49分39秒
	3位	瀬戸中バレーB	52分18秒
(中学校女子・一般女子)			
4部	優勝	内子中女子バスケ部	53分15秒
	準優勝	内子レディースA	56分44秒
	3位	内子レディースB	59分16秒
(オープントラック)			
オーブン	優勝	大久スポーツ少年団A	56分40秒
	準優勝	ありがとう塩成小	59分28秒
	3位	チーム堀田	60分17秒
(小学生の部)			
小学生	優勝	大久スポーツ少年団A	56分40秒
	準優勝	ありがとう塩成小	59分28秒
	3位	さようなら塩成小	60分40秒

第42回 瀬戸駅伝大会

新春の瀬戸路を飾る、第42回瀬戸駅伝大会が、1月11日(日)四ツ浜地区体育館前をスタート、三机小学校グランードをゴールとする、6区間並びに3区間(総距離13.3キロ)で行われ38チーム参加のもとチーム一丸となつてタスキリレーしました。

当日は、雪も降る肌寒い天候で絶好のコンディションではなかつたものの、沿道や各中継所では、地元住民ら30回出場になる菊岡喜一郎さん(三机)10回出場になる是澤和史さん(川之浜)に感謝状と盾を贈呈し功績を称えました。結果は次のとおりです。



第1中継所でのタスキリレー

伊方健康マラソン大会開催

2009年1月11日(日)小雪が散らつく厳しい寒さのなか、伊方健康マラソン大会が町見体育館前をスタート地点として開催されました。

コースはA(1.8km)、B(2.5km)、C(4.0km)の3コースで行われ、この日集まった126名の参加者は、ピストルの合図とともに元気よく各コースに飛び出しました。

上位入賞を目指す者、マイペースで完走を目指す者、目標はそれぞれでしたが、全参加者が見事完走し、心地よい汗を流しました。



中央教室「凧作り」

公
民
館
だ
よ
り

12月20日(土)町民会館にて中央教室が開催されました。今回も、お正月の遊びをしよう!というテーマで「凧作り」をしました。凧揚げ用の製作キットを2種類用意して、子ども達に選んでもらい、マジックで自由な絵を描いてもらいました。中には、下絵から丁寧に描く子もいれば、頭の中で考えたものを直接凧に描く子もいました。高学年児童になると、絵を描き終えると、自分で説明書を見て竹やひもをつけて完成させていました。低学年児童は、お兄ちゃん、お姉ちゃんに教わりながら完成させていました。



完成した凧は、役場前埋め立て地で飛ばしてみました。「三角凧」と「ぐいじやぐにや凧」の2種類があつたのですが、予想に反して、ぐいじやぐにや凧は走るだけで直ぐ飛んでしまった。反面、三角凧の方は、バランスが難しく一生懸命走っても、ぐいじやぐにや凧と一緒に上手く飛ばず、悔しがる子達もい

ました。あとから、三角凧を選んだ子達も、ぐいじやぐにや凧を借りて、楽しんでいました。

凧揚げ後は、お正月料理ということでも、もち入りぜんざいをみんなでおいしく食べました。

今は昔と違い、遊びといえばゲーム機など家の中の遊びが主になっていますが、昔ながらの青空の下での遊びも楽しいと言つことが実感できた一日になったのではないかでしょうか。

中央公民館

1月10日(土)町見公民館において書き初め教室を開催しました。

今年で2回目となるこの事業は書き初め作品作りをとおして、友達作り・仲間作りに寄与するとともに大事なことは年最初から取り組むという気持ちを養うことを目的としています。当日は、講師に鳥津地区自治公民館で習字教室を開かれている鳥津松三郎先生をお迎えし、児童14名、地域のみなさん4名、教職員2名の計20名が参加しました。参加されたみなさんからは、「案幅で大きい字が気持ちよく書いて楽しかった。」「集中して仕上げることができてうれしかった。」との声を聞くことができました。



最後に鳥津先生より「あまたの字をつかむべし」としないで書くことを楽しんでください。習字は書けば書くほど上手になります。みなさんの趣味にしてください」といさつがあり、なごやかな雰囲気の中、教室が終了しました。この教室ででき上がった作品は町見公民館のロビーや公民館まつりで展示紹介する予定です。

町見公民館

「書き初め教室開催!!」

気持ちも新たに

新春書初め大会

瀬戸公民館

2009年の新しい年
を飾るべく、恒例の「書
初め大会」を7日(水)、
三机地区体育館、塩成
小学校講堂、瀬戸社会
教育会館、四ツ浜地区
体育館の4会場で開催
しました。まだまだ寒
さが身にしみる中、瀬
戸地域の児童77名が参
加、心新たに半紙に向
かいました。

書き始めに当たつて
の注意を受けた後、各
学年ごとの新課題に取
り組みました。
まだ学校での授業で
はなく、初めて筆を持
つ1、2年生ではなく、初めに筆を持
つ1、2年生は、
講師結城八郎さ
ん、井上千代さ
んの指導を受け
ながら「あさひ」
「おとし玉」を一
生懸命半紙に書
いていました。
各会場とも、
約2時間半ほど
力一杯一筆一筆



三机会場



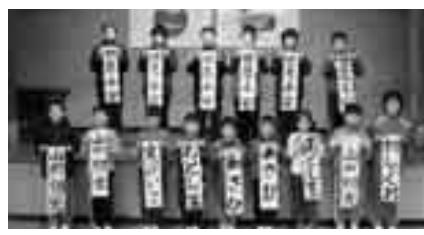
川之浜会場



指導風景（塩成会場）



大久会場



塩成会場

★一年生の部
金賞 井上未来
銀賞 阿部由莉
銅賞 高月杏奈
★三年生の部
金賞 中田優生
銀賞 伊藤有志
銅賞 井上泰
★五年生の部
金賞 梶原菜央
銀賞 井上雄一郎
銅賞 竹本夏奈
★四年生の部
金賞 大谷愛里
銀賞 濱本愛香
銅賞 井上玲亞
★六年生の部
金賞 木嶋美桃里
銀賞 二宮真喜
銅賞 山下伊織

思いを込めて筆を走らせていました。
書き上がった作品は2月10日まで、町民セ
ンターロビーにて掲示していますので、是非
ご覧ください。
※作品の審査を講師の先生にしていただき
ました。

書いたことを
書き始める前に、各
学年ごとの新課題に取
り組みました。



Co₂入りの地球儀で地球温暖化の実験

炭で電池をつくろう

同教室に、小学生13人が参加。講師
の四国電力(株)阿部、奥野両先生の指
導で、実験や工作をしながら電気や
地球温暖化等について楽しく学習し
ました。

12月26日、三崎公民館で行われた
学年ごとに科学教室を行いました。

地球温暖化を学ぼう

科学の不思議で楽しい世界を体験
してもらおうと、三崎公民館は、小
学生4~6年生を対象に「子ども科学教
室」を行いました。



炭とアルミで電池づくりに挑戦

炭で電池をつくろう
食塩水に浸したペーパータオルを
炭に巻き、その上からアルミ箔を
巻きます。1Cオールコードにつな
がった銅線をアルミ箔と炭につなげ
ると、見事に音楽がなりだしまし
た。子どもたちは、炭で電池がで
きたことに驚きました。

このほか、乾電池と磁石でモーター
を作ったり、風の力を利用して走る
ウインドエコカーを作ったりしまし
た。子どもたちは、「なかなかモーター
が回らなかつた」と、科学の不思議
や難しさを感じていたようでした。

炭で音楽がなつた♪

三崎公民館



学校通信

伝統・文化体験教室

1月7日、ふるさと伊方に伝わる伝統や文化について、見たり、直接体験したりすることを通して、地域のよさを知り、ふるさとを愛する心を育てようとした伝統・文化体験教室を実施しました。5・6年生が、ひなあられや七草がゆ作り、たこや紙飛行機・紙グラライダー作り、小中浦・中浦、仁田之浜探索の希望別の6グループに分かれ活動に取り組みました。

(1)ひなあられ、七草がゆ
地域の方の指導により、ひなあられ、七草がゆ作りに取り組みました。昔ながらの組みました。



(2)たこ、紙グラライダー
身近な材料でおもちゃが作れるように子ども達は大喜びでした。はなの回を変えたり、その力を変えたりと自分でいろいろ工夫して遊ぶ楽しみを知ることができます。友達

本校では、学期に1回なかよし給食を実施しています。
異学年との交流を深め、優しさや思いやりの心を育てるという目的のもと、縦割り班ごとにテーブルに分かれ、給食を行います。2回目は、12月22日(月)に実施しました。前日の給食後、6年生と健康委員で手分けして、テーブルを移動したり、名札を貼つたりと準備をしました。

当日は、各班の教職員もまじえての会食となりました。普段は、食事の後には図書委員が輪番で行う読み聞かせに、じっと聞き入る子どもた

伊方小学校

同士で作る楽しさ、一緒にとぼす楽しさを味わえたようです。

(3)小中浦・中浦、仁田之浜



三机小学校

ちも、いつもと違うメンバーや先生たちとほのぼのとした雰囲気で歓談する姿がみられました。

低学年の感想を紹介します。
「わたしはなかなか給食が大好きです。理由は、ほかの学年の人たち

にはまだまだいろいろな文化財が眠っているように思えました。昔は当たり前と思えることでも、今は新しい体験となることがあります。実際に見たり、体験したりしなければわからないことがありますし、言葉を交わさないとわからないこともあります。本校では、今後もふるさとを大切にする子どもづくりに取り組んでいきたいと思います。



地域の方から「しめ縄飾り作り」を教えていただきました。毎年恒例の行事です。6年生ともなると、これまでの積み重ねが実を結び、立派な飾りを作ることができました。低学年児童は、高学年児童や地域の方の手を借りながら、何とか仕上げていきました。仕上げることも大切ですが、この行事の一環のねらいは、地域の方との交流から、多くの知恵や技術を授かることです。日本古来の「しめ縄飾り」を通して、日本の伝統「お正月」に伝わる数々の意味を知ることができます。

伝統を学ぶ

二名津小学校

地域の方から「しめ縄飾り作り」を教えていただきました。毎年恒例の行事です。6年生ともなると、これまでの積み重ねが実を結び、立派な飾りを作ることができました。低学年児童は、高学年児童や地域の方の手を借りながら、何とか仕上げていきました。仕上げることも大切ですが、この行事の一環のねらいは、地域の方との交流から、多くの知恵や技術を授かることです。日本古来の「しめ縄飾り」を通して、日本の伝統「お正月」に伝わる数々の意味を知ることができます。



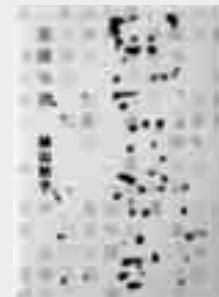
図書館だより



今月の新刊

○子ども向け

- ゆうきメガネ / 赤羽じゅんこ 作、岡本 順 絵
- はずかしがりやのれんこんくん / 二宮由紀子 文、長野ヒデ子 絵
- エゾオオカミ物語 / あべ弘士 作
- あっ！ゆきだ / フランクリンM・ブランリー さく、ホリー・ケラー え
- グラファロのおじょうちゃん / ジュリア・ドナルドソン ぶん、アクセル・シェフラー え
- くるまにかな？ / 久山太市 やく
- とうさんのあしのうえで / やまもとしようぞう さく、いちはらじゅん え
- かいものさんぽゴムぞうり / いもとようこ 作・絵
- ノーと私 / 荒井良二 さく、古賀鈴鳴 え
- 「おまえだ！」とカビバラはいった / デルフィース・ドゥ・ヴィガン 著、加藤かおり 訳
- 雨あがり / 齊藤 洋 著、佐々木マキ 画
- 氷の心臓 / 稲本昭治 作、福田岩緒 絵
- グラファロのおじょうちゃん / カイ・マイヤー 著、遠山明子 訳 ほか



○一般向け

- サラスミの兵士たち / ハビエル・カルカス 著、宇野和美 訳
- イノセント・ゲリラの祝祭 / 海堂 尊 著
- ファミリーポートレート / 桜庭一樹 著
- 光 / 三浦しをん 著
- あした吹く風 / あさのあつこ 著
- 足でつかむ夢 / 児島裕治 著
- 庵堂三兄弟の聖職 / 真藤順丈 著
- 優雅なハリネズミ / ミュリエル・ベルベリ 著、河村真紀子 訳
- 悼む人 / 天童荒太 著
- 北緯14度 / 絲山秋子 著
- あなたの歌 / 井上荒野 著 ほか

利用案内

■開館日／火曜日～日曜日

午前9時30分～午後6時

■休館日／毎週月曜日（月曜日が祝日のときはその翌日も）

祝日・月末図書整理日・年末年始・蔵書点検日

伊方町立図書館（伊方町生涯学習センター2階）

伊方町湊浦1992番地

TEL(0894)38-0607 FAX(0894)38-0617

瀬戸町民センター・三崎公民館にて図書の返却のみ可能。

2月図書館カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

■…休館日



ピップスおはなし会のごあんない

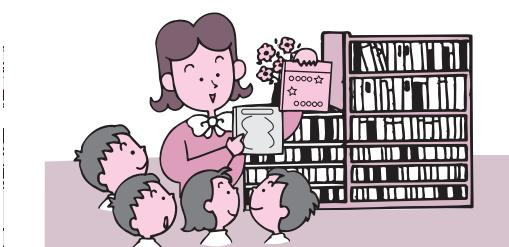
2月のおはなし会は14日(土)・28日(土)

午後2時から30分程度

■対象：未就学児童および親子
小学校低学年児童

絵本の読み聞かせや紙芝居などをおはなしコーナーで行っています。

みんな、来てね！



児遊館より

ロボカップを作りましょう！

2月21日(土) 午後2時から、ロボカップを作りましょう！

参加される方は当日時間までに受付にお越しください。

参加費：無料。先着10～15名まで

【お問い合わせ】

伊方町生涯学習センター内 児遊館 38-1020

映画上映会のご案内

2月14日(土) 児遊館にて映画上映会を行います。室内が狭く、人数に限りがありますので早めにお越しください。

場 所 児遊館内 集会室



作 品 名 赤毛のアン

上映時間 1回目 10:00～11:10

2回目 15:00～16:10

【お問い合わせ】

伊方町生涯学習センター内 児遊館 38-1020

伊方スポーツセンターひさいふ

ジュニアスポーツ＆ バランスボール教室のご案内

○運動神経が著しく発達するのは子どもの時期です!!この時期に適切な運動を行わないと、神経系の発達はもとより、骨や筋肉の成長を阻害してしまう恐れがあります。

スポーツセンターではこの時期に適切な、全身的で多様な動きを取り入れた運動プログラムをご用意し、お子様の健全な発育・発達をサポートしてまいります。

【期 間】 2月7日・2月14日・2月21日・2月28日 第5期

3月7日・3月14日・3月21日・3月28日 第6期

【時 間】 14:30～16:00

【曜 日】 土曜日

【対象者】 5～8歳までの幼児・児童

【場 所】 伊方スポーツセンター3階アリーナ・プール

【受講料】 2,000円／1期(4回分)

【持ち物】 運動できる服装・屋内シューズ・飲み物・タオル・水泳道具

【その他】 期間中プールかトレーニング室の使用が2回無料

●内 容●

テニス & バランスボール体操
バスケット & バランスボール体操
スイミング & バランスボール体操
サッカー & バランスボール体操

*ラケットなどの運動道具はスポーツセンターでご準備しています

- 詳しいお問い合わせは、下記にご連絡ください。
伊方スポーツセンター ☎ 38-1100, ☎ 38-0776

平成20年度 「二見公民館まつり(二見地区 ふるさとまつり)」のご案内

公民館まつりをとおして地域間交流を深め、文化団体や各種趣味講座等の作品を展示し文化団体の育成及び活動の啓発に寄与することを目的として、下記日程等により開催いたします。

[と き] 平成21年2月1日(日)
9:00～15:00

[と こ ろ] 二見小学校体育館

[展 示] 保育所入所児童、小・中学生、各種グループの作品展示

[芸能発表] 歌謡、舞踊などの発表

[バ ザ ー] ふるさとの味即売、海の幸即売等

地域の特色をいかした、手づくりの公民館まつりとして大変好評を得ています。

たくさんの方のご来場をお待ちしています。

PTA 表彰

平成20年11月20日に東京都のホテルニューオータニにおいて開催された日本PTA創立60周年記念式典の席上、PTA活動の振興に対する顕著な功績が認められ、藤中秀樹さん(川永田)が5年に1回のPTA活動振興功労者文部科学大臣表彰を受賞されました。

また、宮本ひとみさん(亀浦)は、日本PTA全国協議会長感謝状を受賞されました。



文部科学大臣表彰
藤中秀樹さん(川永田)



日本PTA全国協議会感謝状
宮本ひとみさん(亀浦)

2月の「佐田岬の自然 スライド上映会」

2月25日(水)
18:30~20:30

持ち込み写真歓迎

入館無料

◆今月のきょうどかん◆

2009年 2月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28

■=おやすみ ■=夜スライド上映
休館日は都合により、変更する場合があります。
17日~20日は、企画展準備のため、おやすみといたします。

■ 休館	■ 開館時間	■ TEL・FAX
(不在の場合)	38-2661	39-0241
月ほか	30	生涯学習課
16	30	

開館10周年記念企画展 「佐田岬みつけ隊」展

一隊員による活動報告展
2月21日(土)~5月10日(日)



結成3周年を迎えた郷土館センター「佐田岬みつけ隊」の活動あれやこれやをドーンとご紹介します！
関連行事も盛りだくさん！

- 関連行事 ★2月28日 鐻絵講演会
- ★3月7日 古文書講座
- ★4月19日 石造物見学会

お問い合わせは町見郷土館へ。

阿部家の トシガミサマ

三崎の八幡神社の神職を代々受け継ぐ阿部家では、新年を迎える際、トシガミサマ(年神様)のための独自の設えを作ります。

幅30センチほどの黒っぽい三方の上に、四隅にウラジロを敷いて米を山盛りにします。これを土台に、まづ中央にサンボンマツ(三本松)三又になつた若い松の枝を立て、その左右には伊勢海老(身は抜いて殻のみ)を向かい合わせに並べます。松の前には、昆布を筒状に丸めて水引で括ったものを立て、その上にダイダイを一個載せます。さらに正面に約2センチ四方の四角い餅を薄く削いだ



しょに拝み、「おめでとうございます」と全員で挨拶。その後、家長の話があつ



て、最後に全員でお雑煮を頂いて終了です。ちなみに、家の神棚には小さい鏡餅とカイボシ(小さい干魚)・ツルシガキ(干柿)、後縁に蜜柑を、家族の人数分並べます。

元旦の朝は、オトシトリという儀式があつて、正装した家族全員が家の神棚と床の間にお参りした後、座敷でトシガミサマを上座に一同向かい合わせで座つて並び、一人ずつカワラケ(杯)でお神酒を頂き、数の子を頂きます。家長から順に頂いて、最後にもう一度家長が頂きます。その後、トシガミサマの三方をいつしょに拝み、「おめでとうございます」と全員で挨拶。その後、家長の話があつて、最後に全員でお雑煮を頂いて終了です。ちなみに、家の神棚には小さい鏡餅とカイボシ(小さい干魚)・ツルシガキ(干柿)、後縁に蜜柑を、家族の人数分並べます。

また本殿をはじめ神社境内や門口、また家の神様のいる場所には、サイワイギ(といつて松の割り木に注連縄を巻き)ウラジロを付けたものを飾りますが、そこにはモトマツリ(元祭)といつて正月三ヶ日の間、ご飯が炊ける度に御飯とカイボシ(刻んだもの)をいつしょに供えるのだそうです。

佐田岬民俗ノート

45

て、最後に全員でお雑煮を頂いて終了です。ちなみに、家の神棚には小さい鏡餅とカイボシ(小さい干魚)・ツルシガキ(干柿)、後縁に蜜柑を、家族の人数分並べます。

平成20年度 人権作文から

支えあつて

伊方中学校3年 渡邊麻依

私は今年に入つてから、初めて社会で公民的分野を習い、そこでハンセン病のことを知った。そして、今年開催された北京オリンピックでは、オリンピック組織委員会が発表した出入国などに関する「法律指針」にハンセン病患者などの入国を禁止する条項があるということを、新聞で知つた。

公民の教科書では、日本のハンセン病に対する政策が間違い、長い間患者の人権をいぢじるしく侵害したことなどが記されていた。私は不思議とその教科書の4分の1のスペースに興味を持ち、もっと詳しく知つてみたいと思うようになった。

そして今年の夏休み、香川県の大島青松園という、ハンセン病療養所に新川会館学習会のサマーキャンプで訪れる变成了。ここでは、現在138人のハンセン病療養者が住み、平均年齢は79歳らしい。大島青松園を含め、日本には15ヶ所のハンセン病療養所があり、およそ35000人の療養者がいる。しかし、今では、ハンセン病患者は、

日本に1人もいないということに驚いた。

私たちに話をしたのは、同じ愛媛県出身の本田さんと磯野さんだった。私たちが考えた質問に、熱心に答えてくださり、3時間ほど一緒に話した。

ハンセン病と分かったら島に入れられて、そのまま故郷に帰れない……いわば、入り口はあるが、出口はないということが、昔は一歩街に出れば、差別されたりなど、詳しく説明してくれた。

しかし、本田さんと磯野さんは、「國の方針が間違っていた。」とは一言も口にさぬことはなかつた。2人は、明るく自分の体験談を、「一生懸命」に話してくれた。私はこんな人がとても輝いて見え、そして時間が経つごとに心を打たれた。

この2人の話の中で、私はこんな話が心に残っている。それは、後遺症で手の不自由な本田さんが高松に行つた時の話だつた。自動販売機で飲み物を買おうとした時、中高生に頼んで、コインを入れてもううそうだ。

なぜ中高生に頼むのか、私は疑問に思つた。お年寄りの人の方が親切な人が多いはずなのに。そのことを質問すると、本田さんは、お年寄りの方だと、昔の考え方で差別されるかもしない。中高生の場合、今は教育されていて、少しは理解できるからだそうだ。しかし、中高生の中でも無視する人もいれば、快く引き受けれる人もいるらしい。この話で、困つてている人がいれば、手を差し伸べてほしいという気持ちが伝わつた。

この話で、誰かに支えられない生きていけない、ということは改めて気付かされた。私を含め、すべての人は支えられている。家族や友達、学校の先生、地域の人々。ハンセン病の人だったり、看護師なして生きていけない。だからそれほどの世の人々全員が必要とされて生きているのだ。当たり前のことをだけじこのことをもっと意識していくのが大切だと、私は思った。

私のクラスには、心臓の悪い友達がいる。年に何度も大阪の病院に通い、走つたりすることができる。でも、私たちは彼女に支えられていく。運動会の時は音楽をかけて、体育の時は記録をとつてくれる。今思えば、陰で支えてくれた。そして、私たちも彼女を支えているのかかもしれない。小学校の修学旅行では、メリーゴーランドや、観覧車に乗り、激しい乗り物を揃えた。

遠足では走り回らないゲームを考え、みんなで遊んだ。こんな小さな気遣いが大切なのだ。みんなで助け合い、支えあって生きていることのことをみんなに知ってもらいたい。困つた人がいれば、みんなが支えになる世界になつてほしい。スマーキャンプに行つて、ハンセン病のこと以外もたくさん学ぶことができた。

そして、今ではハンセン病療養者のためのハンセン病問題基本法が6月11日に参議院本会議で可決され、来年度施行することになった。しかし、この法律は、ハンセン病療養所などの生活の保障や、社会復帰の支援などで、島から出て、みんなが同じ生活をするということは、こ

とになつた。しかし、この法律は、ハンセン病療養所などの生活の保障や、社会復帰の支援など、平等に暮らせる日を私たちが作つていかなければならぬ。いつかこんな日が実現するようになつた。

北京オリンピックでも、ハンセン病患者の入国拒否など、人権を侵害した。国際の大会なのに、このような差別をしてはいけないと私は思った。

世界中の人々が差別も偏見もなく、平等に暮らせる日を私たちが作つていかなければならぬ。いつかこんな日が実現するようになつた。

北京オリンピックでも、ハンセン病患者の入国拒否など、人権を侵害した。国際の大会なのに、このような差別をしてはいけないと私は思った。

今、私たちがしなければいけないことは、みんなが同じところで、同じ環境で生活し合えることだと思つ。

北京オリンピックでも、ハンセン病患者の入国拒否など、人権を侵害した。国際の大会なのに、このような差別をしてはいけないと私は思った。

今、私たちがしなければいけないことは、みんなが同じところで、同じ環境で生活し合えることだと思つ。

平成20年度 人権メッセージから

三崎小学校5年 宇都宮 優

私は、あいさつを自分からするのが苦手だ。

朝の登校と中、近所のおばさんは記録をとつてくれる。今思えば、陰で支えてくれた。そして、私たちも彼女を支えているのかかもしれない。小学校の修学旅行では、メリーゴーランドや、観覧車に乗り、激しい乗り物を揃えた。

車に乗り、激しい乗り物を揃えた。

私は、あいさつを自分からするのが苦手だ。

自分からあいさつをしてみた。すると、自然にさわやかな気持ちになった。あいさつは、人を元気してくれる薬のようなものだと思つ。あいさつで明るい町にならじすべきだと思つ。

